

令和4年5月9日（月）朝礼

一羊館施設長 桑原英真

コロナが蔓延し尽した今、これからの私達の生活のあり方は？ パート3、

当館でも新型コロナウイルス感染者が発生して、これまでのほぼ2週間は、どうなるかの瀬戸際を当一羊館も迎えていました。そして幸い無事に本日を迎えました。キズが少なく済んだのは、ひとえに、それぞれの皆さんがそれぞれ手分けして迅速な対応をした結果でしたので、本当に有難うございました。

（経過：4/22 抗原検査陽性の為 PCR 検査追加して 4/23 陽性でスタッフが新型コロナ陽性確定した。その後濃厚接触者になっていなかった 2F 入所者が抗原検査前日陰性 4/25 当日陽性となり、幸い入所者は同日病院に転入院できた。同日夕方よりふえきクリニックから機器を持ち込んで翌明け方までかけて 2F 入所者全員 46 名の PCR 検査終了して全員陰性が確定した。4/22 より濃厚接触者対応 21 名の区分けフォロー等が始まっていた。そして 5/2 で監視フォロー終了となり、5/3 よりほぼ通常業務に戻った。その間に C-MAT によるチェックをお願いして 4/27 に実施された。）

朝礼も 5 月 2 日（月）にするかどうかの判断をさせて頂きましたが、先が見えない中で行うよりも無事に乗り越えたね、と喜び合う 1 週間後にしましようかと決めさせて頂きました。

予定通り安心の本日を迎えました。本当に良かったです。老健施設の特徴である多職種協働の成果でした。

コロナ対策のその基本は、いつも言うようにマスク着用・手指消毒・黙食・換気・3密回避・スタンダードプリコーション等、です。

これらを厳密に守っていれば、感染しないし感染しても人に移さないということが判ってきました。その上で、県外に行こうが花見に行こうが心配ないということです。

ただ周りの環境には守らない人もいられるかもしれないことを忘れないことです。問題はここです。

これらを理解した上で、過度に窮屈にならない生活様式に切り替えて生きましょう。

迅速な情報共有と多職種協働で、スタッフみんなで、一蓮托生のコロナ対策を乗り切りましょう。

